



ゆたんぽによる低温やけどに注意！

－兵庫県立生活科学総合センター発表資料－

2008年12月2日

財団法人製品安全協会

今年も木枯らしが吹き、寒さが本番になってきました。ここ数年ブームが続いております「ゆたんぽ」が大活躍する季節ではないでしょうか。

「ゆたんぽ」を使用する上で注意しなければならないことの1つとして『低温やけど』があります。

『低温やけど』とは、それほど熱いと感じない物や、暖かいと感じる物に長時間触れていて「やけど」を負うことがあり、それを一般的に『低温やけど』と呼んでいます。やけどの発生には、熱源の温度と、熱源に接する時間が関係しています。

一方、『低温やけど』は、皮膚の表面はわずかなやけどに見えても、長時間にわたって熱の影響を受けるため、やけどが皮膚の深い組織まで進行し、内部が壊死してしまうこともあり、見た目よりも治療に手間がかかるといわれています。

この『低温やけど』について、兵庫県立生活科学総合センターから11月26日付でゆたんぽの温度経過テストを含む注意喚起資料が発表されましたので、ご案内致します。

ご興味のある方は、一度ご覧いただきますようお願い致します。

兵庫県立生活科学総合センターWeb Site : <http://www6.ocn.ne.jp/~seiken/>

・ 11月26日付資料 : http://web.pref.hyogo.jp/press/press_ac021_00004768.html

【本件に関するお問い合わせ】

財団法人製品安全協会

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪

広報チーム 若井、業務グループ 松田

電話：03-5808-3301(広報チーム)、03-5808-3302(業務グループ)

FAX：03-5808-3305 E-Mail mail@sg-mark.org